

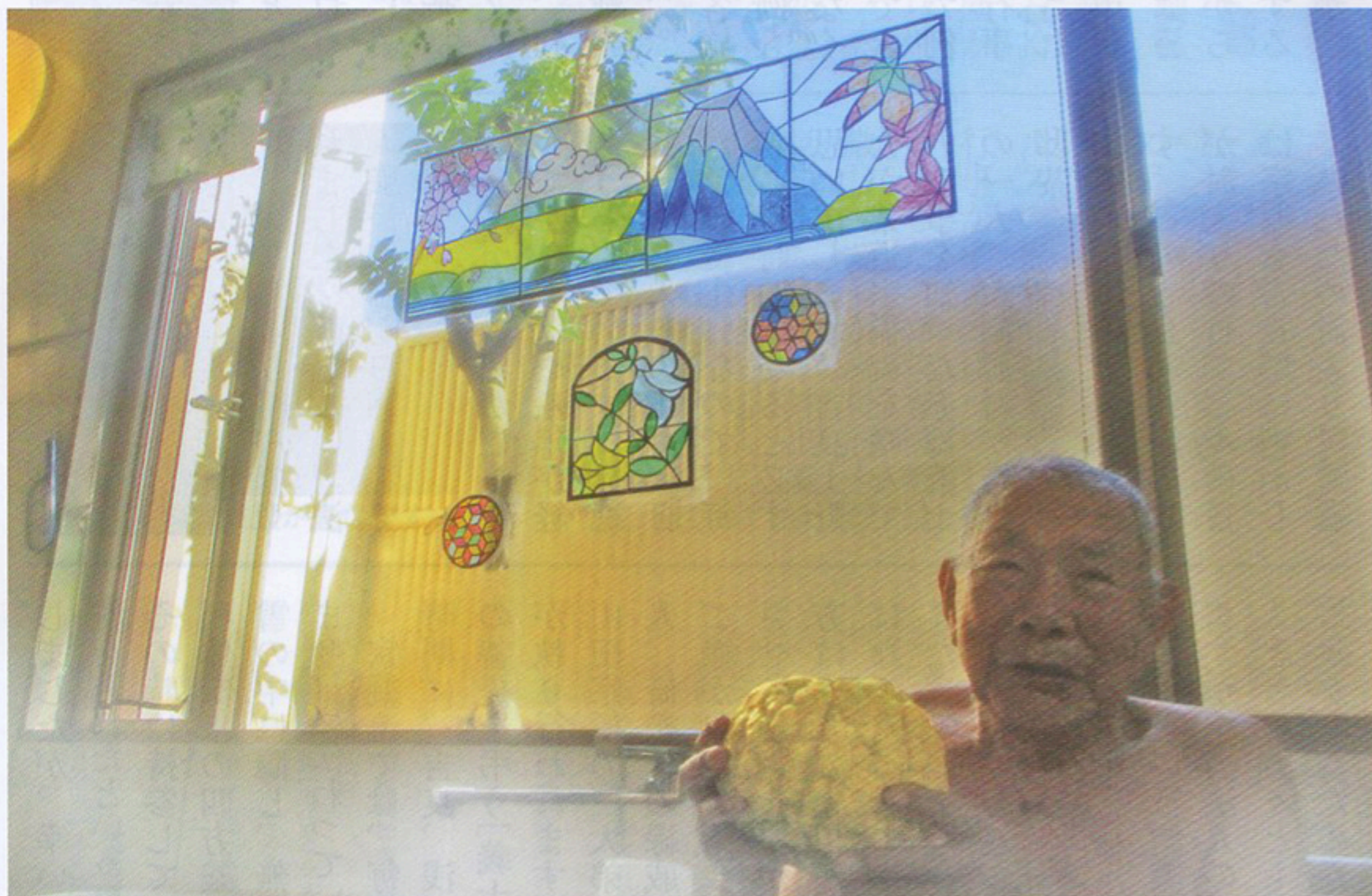


第226号

令和2年12月20日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



運氣とテンションを上げる! 開運ゆず湯 手作りステンドグラスを添えて (デイサービスセンター吉かわ)

随想	12月に思う	滝川 一 亮
回顧	地球環境の予想と2025年に向けて アイエス社労士事務所 所長 伊藤 悟 2020年を振り返る	3
研究発表	パワリリハビリの対象を拡げる試み 老人保健施設ベルユーハイツ作業療法士 小峰 亮平	5
薬学講座その4	薬学は、化学の世界(一) 老人保健施設ベルユーハイツ薬剤師 谷山 正好	6
特 技	趣味の園芸とイチオシ果樹 特別養護老人ホーム倶楽荘介護士主任 竹本 俊幸	7
施設だより	施設だより	8
*作 楽 荘	文化祭を終えて 行事委員長 稲場 直美	15
*デイサービス作楽荘	デイサービスと老化デイサービス利用者 岡野 弘	
*美光ハイム	体操教室 理学療法士 榊原 茎太	
*倶 楽 荘	団子茶屋 介護士 白井 伶奈	
*GHくらら	イベントランチ 介護士 牧野絵理奈	
*ス 楽 荘	避難訓練 介護士 神谷 宜則	
*ベルユーハイツ	施設内研修を開催 理学療法士主任 杉本 昌洋	
*ベルユーハイツティケア	文化祭作品 介護士 鈴木 彩華	
*DSC吉かわ	誕生会 看護師 榊原千絵子	
*麗 楽 荘	ありがとね 介護士 橋本 忠宏	
*デイサービス麗楽荘	麗楽荘芸術祭作品 介護士 田中 育代	
*和光ハイム	サファリでのひと時 入居者 大木 勇夫	
*GHくらら	文化祭を開催して 介護士 今泉早央里	
*奇 楽 荘	運動会「パン食い競争」介護士 森 千秋	
*GHくらら	きらら特製ずんだ餅 介護士 入谷 訓弘	15
施設日誌／編集後記		16

随 想

12 月 に 思 う

社会福祉法人一誠福祉会 理事長 滝 川 一 亮

今年もあとわずかとなりました。まさに、コロナに始まり、コロナに終わった1年でした。皆様は如何だったでしょうか。

当法人に於いても、利用者様および職員の健康を守るため、面接制限、感染予防対策などを各施設で徹底し、幸い1例も感染者が発生する事なく年の瀬を迎える事ができました。また、施設で例年行われている年中行事のことがとくが中止される中で、少しでも利用者様の閉塞感を払拭しようと、安全に配慮しながら代替イベントを企画するなど、職員一人一人が創

意工夫し、取り組んでくれました。頼もしい当法人職員に心から感謝しております。

前理事長の父が亡くなってから、はや4年が経とうとしています。赤穂浪士討ち入りの12月14日が父の誕生日なので、毎年この時期になると必ず思い出します。吉良上野介が茶道宗徧流を嗜んでいる事を知った赤穂浪士の一人、大高源吾が吉良邸茶会の日を探るため、山田宗徧に弟子入りします。この吉良邸茶会の日が討入りの日で、その日は宗徧も吉良邸に宿泊していたため討入りに遭遇

しましたが、幸いにして難を逃れたという事です。その時に持参していた千利休伝来の四方釜は深い雪の中に隠し、無傷のまま今日に伝わっています。

宗徧流では、毎年この時期に、吉良、浅野両家の菩提を弔う「義士茶会」が執り行われます。私も、

山田宗徧の三大弟子の一人、倚松軒の縁戚というご縁からこの茶会に参加させて頂きますが、隣の方はうちの先祖がお世話になった方なのか、はたまた、敵同士だったのかなどと思いを巡らせた事もありました。「袖触れ合うも多生（他生とも）の縁」という言葉がありますが、当法人の職員や入居者の方々とも過去にご縁があったのかも知れ

ないと考えると、何気ない1日もなんだか感慨深い1日に変わります。

悪役になってばかりの吉良上野介ですが、実際は領民思いで、治水工事、新田開発に尽力し、その功績と人柄から地元では名君と慕われていたといわれています。

物事は見方によって良くも悪くも見えます。来年も新型コロナウイルスによる厳しい情勢の中、多難な運営が予想されますが、事象を多面的に捉えるように努め、的確な対応を心掛ける所存です。本年は誠にありがとうございました。来年もどうかよろしくお願い申し上げます。



回顧

地球環境の予想と2025年に向けて

アイエス社労士事務所 所長 伊 藤 悟

ミレニアムと言われた2000年から早や20年経過しました。21世紀に入ってから、ますます地球環境が変わってきたと強く感じられます。特に気象が変化してきたと感じるのは私だけでしょうか。夏は猛暑日が増大、集中豪雨、スーパー台風の大陸、突風、ニユースでも、「今までに経験したことのない…」大雨特別警報」というフレーズが増えている感じがします。噴火や地震も増加しております。

「ある日突然始まる…」こんなフレーズがふと頭をよぎります。御嶽山の噴火がそうでした。9月後半の天候の良い日のお昼頃、突然始まったのです。御嶽山には30代のこ

ろ登頂したことがあります。山頂には神社があり、国常のみこと、という神様が祭られています。この神様こそ、日月神示という書物（明治時代に、岡本天明さんという神主さんが突然自動書記で書かされたと言われる書物）に出てくる神様です。「とつぜんはじまるのだから、気を付けてくれよ」「子の年を真ん中にして前後10年が正念場」などのお言葉が書かれています。御嶽山の神様のお言葉のもと、御嶽山で突然噴火が始まったのです。これはただ事ではない、深い意味があるのでは…と感じていました。私は子年生まれですが子年は今年、この年の前後10年はいろいろ起きることを

言っているのでしょうか。突然のコロナ騒ぎも2020年に始まりました。この年を境に正念場の事象が続くとすれば、歴史的にどのような経過を辿ってきたのでしょうか。振り返ってみますと、1905年に当時の日本は、世界最強と言われたバルチック艦隊を撃破し、ロシア戦争に勝利し日本中が浮かれていました。その調子のままどんどん領土を拡大し他国を攻め、その40年後どうなったか。1945年に世界初の原爆が投下され、日本は焦土と化しました。壊滅的な打撃を受けたのです。しかし、そこから謙虚に反省をし、国民の不断の努力によってみごと復興を遂げてきました。この1945年から40年間は、大きな災害もなく、新幹線の開業、東京オリピックの開催、大阪万博の開催など次から次へと大きなイベント、そして高度経済成長を遂げました。やがてバブル景気となり、株価が38000円台まで上昇、なんでもアリの日本になりました。絶頂期、時に1985年です。

それから、40年の間に今度は雲仙普賢岳の火砕流から始まって、阪神淡路大震災、東日本大震災など、大きな災害がまた発生し始めております。歴史を見るに、どうも40年のサイクルで上昇下降を繰り返しているような感じが致します。ということは、40年を足した数字となる2025年までは、まだ我慢の年が続く可能性があります。こうした時代は、謙虚に誠実に、地球環境や大自然に対して畏敬の念を持って生きていくことが肝要かと思うのです。

2020年を振り返る



1 世界的パンデミック

昨年の12月、中国の武漢市から始まった新型コロナウイルスの猛威が未だに止まらない。

日本でも第3波が押しよせ、各地の病院・福祉施設でクラスターが発生し、災害として大阪・北海道で認定され、自衛隊の看護師が派遣される始末。当然対岸の火事ではない当法人も感染委員会等で情報収集、そして感染対策を練り徹底し、水際で防ぐのに必死である。

いる。それでもエールを送って下さる方もいて、大変感謝の至りである。

2 初釜茶会の開催

1月下旬から2月上旬にかけて、作楽荘・BVH・麗楽荘の3施設で毎年恒例の宗偏吉田流初釜茶会が開催された。しかし、その後の施設内茶々研修、許状授与式、新人茶々研修は新型コロナウイルス感染拡大で開催の目途がたたず。平成8年から始まった事業がストップ。非常に残念である。

3 人事異動

○近藤利彦氏

6月より老人保健施設ベルビューハイツ施設長兼医師として就任

○相山由里子氏

4月より特別養護老人ホーム麗楽荘副荘長兼ケアハウス和光ハイム相談員として就任

4 職員制服の刷新

5月より各職種の制服が変わった。昨年度、制服見直し委員会で検討を重ねやっとお披露目。評判も上々。

5 聖火の火は消えず

東京2020オリンピックが延期。それに伴い聖火リレーのランナーとして選出されていた、作楽荘職員の清川哲央氏も残念ながら今年は走るこ

6 リモート会議の開催

その雄姿を見たい。
コロナ禍で「3密」を防ぐため、さらに今後、あらたな会議のあり方を模索するため、本部会議

を極力リモート会議で行う事にした。当初は画像が突然消えたり、声が聞こえなかったりとトラブルが続いたが、今ではしつかりリモート会議が板に付いてきた。

7 緊急包括支援金交付

最大限の感染症対策を継続しつつ、必要なサービスを提供する体制の構築のため補助金が愛知県より交付された。当法人も感染拡大予防の対策をさらに徹底するため物品の購入・修繕の実施等を行い交付金を受給。

8 中期・長期計画会議の開催

10月22日、今年度の事業計画の目玉である会議が作楽荘で開催され、選抜された職員により、法人の未来について語り合われた。

研究発表

パワーリハビリの対象を拡げる試み

～ 生活動作意欲への影響は ～

愛知県 老人保健施設 ベルヴェーハイツ

発表者 作業療法士：小峰 亮平

共同演者 理学療法士：市川 行英・杉本 昌洋・村松 佑斗・山本 祥子・大嶋 千夏

作業療法士：大野 雅弘

【はじめに】

当施設では平成31年3月よりパワーリハビリテーション（以下パワーリハ）を導入している。今回パワーリハの対象を拡げるため、身体機能面に加え生活動作意欲に与える影響について検証した。

【対 象】

入所者の中から既往歴や関節可動域、意思疎通の可否などを考慮し計17名を対象とした。内訳は男性4名・女性13名、平均年齢85.6歳。中枢神経疾患7名、大腿骨頸部骨折3名、人工膝関節置換術1名、アルツハイマー型認知症5名、廃用症候群1名である。

【方 法】

従来より行っていた訓練と並行して、週3回3ヶ月間、レッグプレス、レッグエクステンション、ローイング、アブダクションの中から1～2種類を入所者の身体機能に合わせて実施した。生活意欲の評価には Vitality index（以下VI）を採用し、その他の評価としては最大筋力の測定、Functional Independence Measure（以下FIM）、改訂長谷川式簡易知能評価スケール（以下HDS-R）を行なった。

【結 果】

- 評価期間3ヶ月の間で17名中、途中での入院・退所が3名。拒否・誘導困難による継続中止が2名。最終評価まで実施できたのは12名となった。
- VIについては殆ど変化が見られなかった。
- パワーリハを行った事を記憶している症例、方法まで記憶している症例、全く記憶にない症例と反応はそれぞれ違いがあったが、生活上の介助量の多い症例ほど拒否や無反応などの傾向が強かった。

- FIMは移乗や移動能力を中心に若干の向上あり。一方で認知項目についてはあまり変化がなかった。
- HDS-Rは低下傾向だった。
- 最大筋力においては全体的に向上が認められ、特にレッグプレスでの最大筋力の向上が著明だった。

【考 察】

VIの評価のみでは今回殆ど点数に変化はなかった。意欲の評価は大まかで細かい変化は捉えにくかったが、点数に変化のない症例でも、継続して行なっていく内にパワーリハを行なう事を理解して、時間になると自分から部屋の前で待っていて訓練意欲が向上した例も見られ、今後パワーリハと並行して日常生活動作へのアプローチを更に増やしていく事でADLの向上にも結びついていくのではないかと考える。反対に3ヶ月間最後まで実施方法を覚えられない症例もいた。全体的に認知面の低下もあったように訓練時のパワーリハの介入だけでは意欲の向上には不十分であると言える。しかしこのような症例でも最大筋力の向上は見られ、筋の再活性化は図れている事から、普段の生活上の介助方法からしっかりアプローチを行い、訓練の中でパワーリハを継続していく事で意欲や生活動作の介助量等に変化が現れてくるのではないかと考える。

【まとめ】

- ① パワーリハのみでは生活動作意欲・認知面の改善は得られなかった。
- ② 疾患によらず、筋力強化・筋の再活性化には効果が認められた。
- ③ 筋力の向上をADLと結びつけるには、生活上での介入が必要と再認識した。

薬学講座 その④

薬学は、化学の世界(二)

老人保健施設ヘルヴューハイツ 薬剤師 谷山 正好

これで、四回目となりますが、薬学博士でもない者が薬学を語るのはおこがましいことなのですが、様々な薬剤師業務をやってきたので、化学と薬学の関係を書き下してみることになりました。

表を見ると中学校あたりで目にしたことがあると思われる「周期表」です。半世紀ほど前の高校では、化学をやるなら周期表を二十番目まで覚えるように先生に言われたものです。

『水兵のリーベ僕の

表：元素の周期表

	1族	2族	13族	14族	15族	16族	17族	18族
第1周期	${}^1_1\text{H}$ 水素							${}^2_2\text{He}$ ヘリウム
第2周期	${}^3_3\text{Li}$ リチウム	${}^4_4\text{Be}$ ベリリウム	${}^5_5\text{B}$ ホウ素	${}^6_6\text{C}$ 炭素	${}^7_7\text{N}$ 窒素	${}^8_8\text{O}$ 酸素	${}^9_9\text{F}$ フッ素	${}^{10}_{10}\text{Ne}$ ネオン
第3周期	${}^{11}_{11}\text{Na}$ ナトリウム	${}^{12}_{12}\text{Mg}$ マグネシウム	${}^{13}_{13}\text{Al}$ アルミニウム	${}^{14}_{14}\text{Si}$ ケイ素	${}^{15}_{15}\text{P}$ リン	${}^{16}_{16}\text{S}$ 硫黄	${}^{17}_{17}\text{Cl}$ 塩素	${}^{18}_{18}\text{Ar}$ アルゴン
第4周期	${}^{19}_{19}\text{K}$ カリウム	${}^{20}_{20}\text{Ca}$ カルシウム						

船、・・・』『水兵』『リーベ(恋人)』『僕の船』えっ、何のこと？

水素、ヘリウム、ベリリウムなどなど、化学記号を暗記したものです。

周期表は、元素の性質をよく表しています。

○有機物(もやして灰になるもの)は、多くの場合 $\text{H} \cdot \text{C} \cdot \text{O} \cdot \text{N} \cdot \text{O}$ で構成されています。

アミノ酸の一つ、うま味で知られている、グルタミン酸(Glu) $\text{H}_2\text{N} \cdot \text{CH}(\text{COOH}) \cdot \text{CH}_2 \cdot \text{CH}_2 \cdot \text{COOH}$ でその化学式(示性式)が表されます(図)。

このGluは、うま味(昆布出汁のため有効成分)も今では、興奮性アミノ酸としても知られています。

このように、アミノ酸でもヒトに対して様々な役割があります。

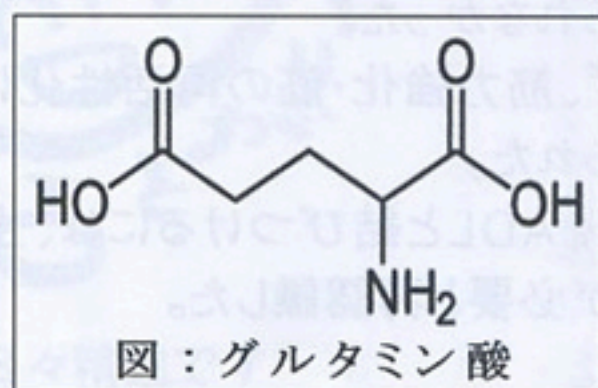
△熱中症でよく言われる水分補給と電解質補給では、 $\text{Na} \cdot \text{K} \cdot \text{Ca} \cdot \text{Mg} \cdot \text{Cl}$ などが中心となっています。

化学薬品である「クスリ」は、より正しい使い方をすることが健康の増進につながります。

※参考

下の図は、味の素の成分を示します。

昔は黄色ぽく、今はまっ白です。



<https://note.com/dyun1207/n/n6d10173ed1c6>

特 技

趣味の園芸とイチオシ果樹

特別養護老人ホーム倶楽荘 介護士主任 竹 本 俊 幸

ガーデニングブームもあり二十代後半から趣味で園芸(樹木)を始め、現在に至ります。

知らず知らずに親の影響を受けていたのだと思います。両親は山野草や珍しい植物が好きでした。時が経つほど値段が下がるモノとは違って、樹木は時と共に成長し、実が成り、商品価値が高くなる貴重なものです。しかも地球温暖化防止にも欠かせないもの。自然の癒しも求めて魅力に取りつかれました。ただ人によつては邪魔もの扱いかもしれません。我が家で

も自分以外は全く興味なし。上手くDNAを継いでもらえばよいのです。

十年前、郊外に自宅と農地を購入。更に園芸に熱が入り、この機に数えたらなんと約七十種、二百五十本の木を植えていました。殆どは園芸店などで幼木を購入し植えたのですが、カシ類は山や公園からドングリを拾って育てました。

園芸の楽しみは四季折々の変化を楽しむこと。春の芽吹きに始まり、開花・実・葉など。長続きのポイントはいい加減

栽培。肥料もなし、虫に食べられても良し。その木本来の生命力に任せて育てています。

梅雨に作る梅干しに始まり、ボイゼンベリーで作るジャム、果樹のシロップ作りなど手作りが楽しめます。市場には出回らない果樹を自分で育てて味わえます。

現在おすすめの木はフエイジョア(別名 パイナップルグアバ)です。温暖な気候の土地で育てられます。今まさに収穫期、卵のようなかわいい実がいっぱいになります。銀白色の丸葉はリースに、花びらは甘くて美味、花はトロピカル、実はリンゴのようなバナナのような甘さ(好き嫌いあり)

で、ジャムやアイスに加えて、しかも常緑樹で大きくなつても二〜三メートル、キーウイと同じ頃にニュージーランドから日本に輸入されましたが、あまり普及しなかったそうです。大きな園芸店で販売されていますので、気になる方は是非一度ご覧になって下さい。ちなみに私は種から二代目の苗を育てていて、今年ようやく花を咲かせ実がつかまりました。唯一の弱点は、和風の庭には合わないところでしょうか？



イチオシの果実

施設だより

作楽荘

○文化祭を終えて

行事委員長 稲場 直美

今年は例年とは違い、感染症対策を徹底しつつも、楽しく過ごしてもらえ文化祭を企画しました。

全体的に規模を縮小し、集会室とデイサービスのフロアを使用して作品展示と茶会。中庭では団子・五平餅・フライドポテトの模擬店を行いました。

特養・ケアハウス入居者様やデイサービス・ショートステイの利用者様には少人数のグループに分かれて頂き、それぞれのブースをゆっくり回り楽しんでもらいました。

茶会では普段見られない入所者様の笑顔や少し上品な一面を見る事ができ嬉しい気持ちになりました。また、模擬店では振る舞った物を美味しそうに食べながらとても楽しそうに皆さん過ごされていました。



結構なお味です

無事に文化祭を終える事ができ、笑顔をたくさん見せてくれた利用者の方々、職員の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。

デイサービス作楽荘

○デイサービスと老化

デイサービス利用者 岡野 弘

喧噪の市街地を後に静寂な住宅団地の一角に位置するこの地は、目的のデイサービスと他の施設が併置されていた。受付は感染症対策充分で不安は無かった。

此所センターには所長を始め十数名のスタッフが常駐しサービスに当たっている。それは男女を問わず何等かの特技技量をもっているようだ。

たとえば体操のお姉さんと呼ばれている看護師さん、その体操について行くことで身体がスッキリする。マッサージを施してくれる全体の先生は東京オリンピックの聖火

ランナーだったのが、延期となつて残念。それでも毎日マラソンの練習を欠かさない。他にも多数の魅力ある職員と有能な所長がいる。

あなたは何を求めて此方に來たの。健康のためと言われるが多数の人々を満足させることは難しい。だが、此処は別だ。

私も相変わらず忘れものが多いが、最近はずいぶん少なくなってきた。腰の痛みも軽くなり元気が戻った。老化の進行が遅くなったきたようだ。この調子だと大正生まれのボクが、昭和生まれに見られるようになるか。

デイサービスの効果は老化速度を遅らせるもの。身をもって実感することが出来ている。

美光ハイム

○体操教室

理学療法士 榊原 基太

コロナ禍のため、外出する機会が減ったことによる体力の低下やストレスの蓄積が危ぶまれています。

美光ハイムの入居者の皆さんもご多分に洩れず同じ状態になりつつあり、それを解消するため、六月頃より作楽荘機能訓練指導員の清川・榊原が指導者となり体操教室を行っています。

夕食前の三十分程度、週に一回ではありますが、毎回多くの方に参加して頂いております。内容はストレッチなどの柔軟体操を中心に、体力維持・向上のために

きるだけ負荷のかかるような運動で、適度に疲れて頂くような体操を行っています。

「楽しかったよ」「次も楽しみにしているよ」と声をかけて頂くことも多々あるため、気分転換のひとつとなっているのであれば幸いです。

安心して外出のできるその日まで、体操教室を継続したいと思えますので今しばらくお付き合い願います。



心も体もリフレッシュ！

倶楽荘

○団子茶屋

介護士 白井 伶奈

特養倶楽荘・グループホームくららでは毎月、カフェや喫茶店を開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で開催を中止しています。

新しい生活様式の中で何か入居者の皆さんに楽しんでもらえる方法はないかと考え、みたらし団子と甘酒を提供する『団子茶屋』を開催しました。

目の前で焼かれる団子に、「早く食べたいな」と待ち遠しい様子でした。しばらくすると香ばしいみたらしの匂いと共に団子が焼きあがりました。「焼きたての団子は美味

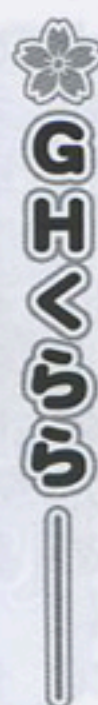
しいね」「甘酒は身体があつたまるね」と笑顔が見られ、皆さん良い気分転換になったようです。



焼きたてはサイコーだね！

職員の創意工夫で『団子茶屋』を開催。皆さんの笑顔を見ることが出来、自分自身も元気をもらい開催してよかったと感じました。

コロナ禍、どうしたら楽しめるイベントを提供出来るか、これからも知恵を絞り、実践していきたいと思えます。



○イベントランチ

介護士 牧野 絵理奈

日に日に寒さが身に染みる季節となりました。

新型コロナウイルスの影響により外出や外食が制限される日々が未だに続いています。こうした中、当事業所では11月16日に入居者様に外食気分を感じてもらおうと、イベントランチを企画し宅配寿司を頼みました。

職員がお寿司を持ち帰り、事業所内で昼食の準備をしていると、お寿司を見た入居者さんが、「わーおいしそう。今日は何かあるの?」と職員の元へ聞きに来る方もいました。食事の準備が整い、入居者の皆さんの前



外食気分で箸がすすむ

にお寿司が用意されると、「御馳走ね」「おいしそう」と笑顔がこぼれ、皆さんあつという間にぺろりと平らげてしまいました。いつもと違う食事にした。いつもと違う食事にかと感じます。まだまだ以前のようにはいかないうちがが続くと思います。入居者の皆さんに楽しんで頂けるような企画を今後も行っていききたいと思います。



○避難訓練

介護士 神谷 宜則

11月12日に避難訓練を行いました。消防設備の保守をお願いしている業者の方に来てもらい、消防設備の説明を受けました。非常ベルを押し消防署との通報訓練を行った後、Cユニットから火災が起きた事を想定してセミパブリックまでの避難誘導を行いました。

入居者さんを避難誘導してみると、手間取ってしまい想定より時間が掛かりました。本物の火災時はさらに焦りもあるので、避難の手順を再検討する必要がありますと感じました。次に救命降下袋の使用方法を指導していた



救命降下袋で避難訓練

だき、職員で実際に降下してみると、中は狭く不安を感じましたが、短時間で2階から1階に避難する事が出来ました。災害時には非常に役に立つ物だと実感しました。日頃から災害に備え消火器や消火栓の場所・使用方法、避難経路、備蓄の確認等を行い、皆さん安全に避難出来るよう心掛けたいと思います。まずは使う事が無い様に日々気を付けたいです。

ベルビューハイツ

○施設内研修を開催

理学療法士主任 杉本 昌洋

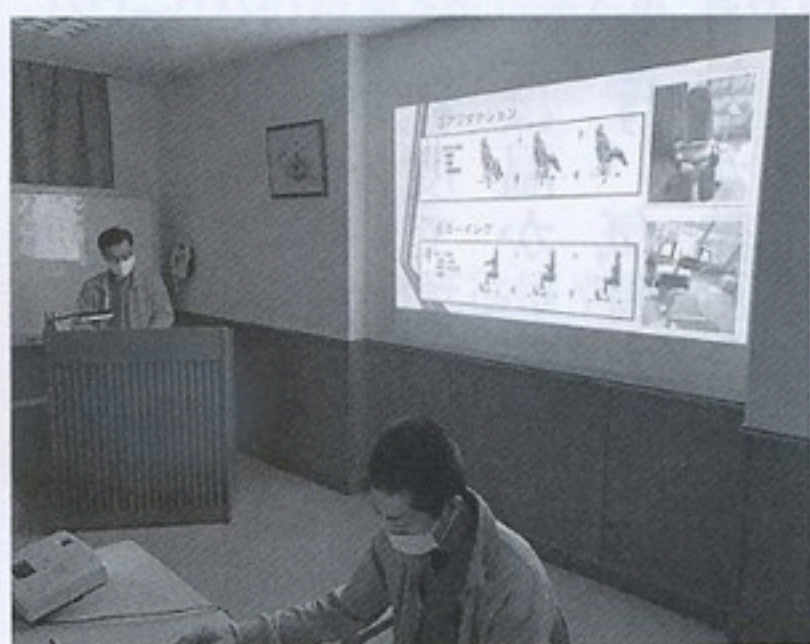
スポーツ、芸術そして
学術の秋となり、BVH
でも11月5日に施設内研
修を開催しました。今回
は学術大会で発表を予定
していた2つの演題を発
表して頂きました。

1題目は介護士の高田
真菜さんの「自然排便を
目指して・身近にある食
品で実践」でした。野菜
ジュースとオリーブオイ
ルそして足踏み運動を取
り入れた研究結果を落ち
着いた口調で発表されま
した。とても興味を持た
れた方もいたようです。

2題目は作業療法士の
小峰亮平さんの「パワーリ
ハビリの対象を拡げる試

み・生活動作意欲への影
響は(本誌5頁掲載)」でし
た。筋力トレーニング機
器を用いて筋力、認知機
能そして生活動作意欲の
変化を報告してくれまし
た。小峰さんは以前にも
学会発表を経験されてお
り堂々としたものでした。

それぞれの発表後には
活発な質疑応答が行われ
ました。また近藤施設長
からも質問やお褒めの言
葉を頂き、大変有意義な
研修となりました。



日頃の研究成果を披露

ベルビューハイツデイケア

○文化祭作品

介護士 鈴木 彩華

11月開催のベルビュー
ハイツ文化祭へ作品を出
展するため、習字と絵手
紙を行いました。

今までは絵手紙の先生
が来所され、果物や野菜
などを見ながら描かれて
いたようですが、先生の
諸事情により開催されな
くなってしまい、今回は
職員が先生となって作品
を作りました。

絵手紙では秋の味覚の
見本の中から好みの物を
選んで描く方、見本なし
で描く方と様々に取り組
まれていました。下絵を
描くところまでは割とペ
ンが進み順調でしたが、
色付けに苦戦されている

方が多く、「この色どう
やったら出来るかな？」
と自分が塗りたい色を作
るのが難しかったようで
す。習字では率先して参
加して下さる方が多く、
職員が手伝うこともなく
スラスラと書かれている
方ばかりでした。完成し
た作品を見た方からの評
判は上々で、とても良い
作品が出来上がりました。

講師の先生方のように
上手に指導はできません
が、私達なりにご利用者
さんと共に楽しく作業が
行えればと思っています。



100点満点です

OSC吉かわ

○誕生日会

看護師 榊原千絵子

年に一度迎える誕生日。『心に残る、喜んでもらう』をテーマに、今年の誕生日会は趣向を凝らし、一人ひとりに思いを込めて職員と利用者の皆様で誕生日を迎えられる方のお祝いをしています。牛乳パックで作ったとは思えないケーキをはじめ、笑顔いっぱいのおスデーカードや利用者様の顔を思い浮かべながら準備する気持ち溢れるプレゼント、大型テレビ画面には『Birthday』の映像を映写し、タンバリンや鈴・ポンポンなどを手に各人がスタンバイ。キ



♪ Happy Birthday ♪

ーボードの生演奏にあわせて全員が「ハッピーバースデー」を歌います。おやつを食べた後の十分間程度ですが、デイルームは温かい空気に包まれます。気持ちがこみ上げ目頭が熱くなる方、声が震えてしまうほど終始満面の笑みの方など感じ方は違いますが、私たちが思っている以上に感激して下さり、幸せを感じる時間なのです。

麗楽荘

○ありがとね

介護士 橋本忠宏

一誠福祉社会・麗楽荘に入社して、あつという間に半年になりました。

定員が少ない小規模多機能型居宅介護出身の自分分は、特別養護老人ホームの利用者様の数に驚き、目の回る毎日の忙しさに時の経つのを忘れ、変わりゆく季節でさえも趣心を動かすことはなくなりました。

介護技術や経験がもつと積み重なればこの冬の寒さや澄んだ空の青さに気が付いたかもしれせん。

日進月歩といえは聞こえはいいですが、実際は



日々精進です

三步進んで二歩下がるように、失敗や気遣いの足りなさ、「ああ、自分は駄目だなあ」と日々思い、たまに心が折れそうな時もあります。しかし、そんな自分の心を晴れさせてくださることがあります。それは利用者様の「ありがとね」という言葉です。まさに魔法の言葉。その一言が私を救ってくださいます。これからも皆さんにそう言われるよう努力を積み重ねていきたいと思ひます。

デイサービス麗楽荘

○麗楽荘芸術祭作品

介護士 田中育代

今年は例年行われていた「文化祭」とは少し趣きを変え、「芸術祭」として開催される事になりました。

デイサービスでは毎年利用者様と一緒に作品を作り展示しています。今年は折り紙をひし形の形に折って、春は桜の木、夏は青葉の木、秋は紅葉の木、冬は樹氷の木を四季の壁面を作成しました。

折り紙を折るのが好きな人に折ってもらい、木の形の上に色々な色の折り紙を貼ってもらいました。

出来上がった作品をデイサービスの壁に貼りだすと、「綺麗だね」「素敵



紅葉の木に見えるかな？

だね」と利用者様が言ってくれました。

芸術祭当日は、美味しいおやつを頂きながら皆さんの作品も観覧する事が出来ました。

来年からはどんな作品を作るかは皆さんと相談して作成したいと思っています。

和光ハイム

○サファリでのひと時

入居者 大木勇夫

あれは確かブルキナファソだったと思う。ロτζに到着し翌日のサファリをキャンセル。自分一人ロτζに残り中庭に椅子を持ち出してジンを片手に読書を始めた。少しするとロτζの入口に吊るしてあった植木鉢に小鳥がやって来て上向き・下向きに止まったりと遊び始めた。今度は芝の上でコソコソと何か音がして目をやると二匹のリスが取っ組合って遊んでいる。しばらくして庭の向こう側でザワザワと音がし席を立ち覗き込むように見るとなんと三十四匹程のセンザンコウの群れで

はないか。ビックリした僕は後ろ向きにゆっくりと席に戻った。夕方近くになると真っ黒な大きい牛が庭に入ってきた。その牛の飼い主らしき方が慌てて走り込んできた。その日一日はロτζの椅子にかけたまま、また違う一人サファリを楽しませてもらった。それと読書とジンも。もちろんこの話は全て「真実」である。



ブルキナファソの王様と!!!

GHうらら

○文化祭を開催して

介護士 今泉 早央里

十一月十一日にグループホームうららにて文化祭を行いました。

「ラーメン・チョコフォンデュ」など十品以上用意し、入居者の皆さんに好きな物を選んでいただきました。いつもと違う雰囲気皆さんの箸も進み、おかわりする人もたくさんいました。「わたがし・チョコフォンデュ」は職員付添のもと一緒に作り上手に出来たと喜んで見てくださいました。

午後からのアトラクションでは、パンをつくるしパン食い競争と輪投げを行いました。



ストレス発散

上手に一回で取れる方もいましたが、なかなか取れず苦戦する人も見えました。皆さんとても楽しまれた様子で笑顔が溢れていました。輪投げでは点数の所にお菓子を貼り付け入居者さんに投げて貰いました。新型コロナウイルスの影響に負けない盛大な文化祭を開催することができました。



上手く出来た

奇楽荘

○運動会「パン食い競争」

介護士 森 千秋

十一月十日、いつもと変わらぬ、ゆったりとした時間が流れる午後三時。「みなさん、こんにちは」二名の元気な職員の声に、入居者の方は何が起こったのか不思議顔。「今からパン食い競争を行います」と言うと、入居者の方も興味津々たちまち笑顔になりました。

パン食い競争と言ってもつるしてあるのはパンだけではありません。「バナナ」「ポン菓子」「スイートポテト」等。一般的に行われるパン食い競争は走って取りに行きますが、それは少し難しく、そこで自分の席でパン食



私はポン菓子がいい！

い競争が出来るようにしました。竿の両端を職員が持ち、声援を送りながら取りやすいように竿を動かすも中々取れません。中には口で取ると分かっていても、つい手が出てしまう方もいました。どの方も取れた時には満面の笑顔でした。

時間にしてみたらとても短かったです、笑顔溢れるとても楽しいひと時でした。

GHきらら

○きらら特製ずんだ餅

介護士 入谷訓弘

当事業所では5年掛けで入居者様と一緒に石拾いをして開拓した菜園があります。田んぼから畑へ姿を変えた菜園で、そこで育てた枝豆は大変豊作でした。食べきれない程の枝豆を活かす事を考え、入居者様とずんだ餅を作ろうという企画を立てました。11月3日にずんだ餅とぜんざい作り。前日から下ごしらえで枝豆を潰し、餡を作りました。ずんだ餅は上手に作ることが出来、いざ実食。皆さん「美味しい美味しい」とあつという間に完食されてしまいました。

「おかわりはあるか
ん？」と言う方もいらっ
しゃり皆さん大変喜ばれ
ていました。

今年は新型コロナウイルスの影
響でほとんどの行事が中止となつてしま
いました。来年も情勢は
厳しいですが職員同士意
見を出し合い、外出でき
ない中で少しでも入居者
様が楽しく笑顔で過ごせ
るようサービスを提供し
ていきたいと思っています。



今年は枝豆が豊作です

本部 日誌

令和2年11月

- 14日 理事会(於TSK)
- 18日 本部会議(web会議)
- 24日 評議員会(書面表決)

作楽荘 日誌

令和2年11月

- 1日 入所者健診(於TSK、7日)
- 2日 職員健診(於TSK、13日)
- 3日 作楽荘・美光ハイム文化祭
- 4日 中野地区民生委員定例会(包括於中野地区市民館)
- 6日 福岡地区民生委員定例会(包括於福岡地区市民館)
- 9日 給食会議
- 12日 宝陵高等学校介護実習(20日)
- 15日 焼き芋会
- 18日 誕生会
- 24日 職種別会議(主任ケアマネ(渡邊副主任)於大清水センター)
- 26日 職種別会議(主任ケアマネ(渡邊副主任)於豊橋市役所)
- 30日 愛知クリニック運営推進会議(包括於愛知クリニック)

美光ハイム 日誌

令和2年11月

- 1日 カラオケ練習(8:10・15:22・24:29日)
- 3日 文化祭
- 5日 茶道クラブ
- 10日 カラオケクラブ
- 11日 書道クラブ
- 17日 健康体操クラブ
- 19日 華道クラブ
- 24日 カラオケクラブ

倶楽荘 日誌

令和2年11月

- 18日 団子茶屋
- 22日 誕生会(Aユニット)
- 24日 職員健康診断(12月4日)
- 25日 誕生会(Cユニット)
- 26日 イベントランチ(Bユニット)
- 30日 誕生会(Cユニット)

GHきらら 日誌

令和2年11月

- 8日 外部評価
- 16日 イベントランチ(寿司)
- 24日 職員健康診断(12月4日)
- 25日 倶楽荘連絡会議

斯楽荘 日誌

令和2年11月

- 2日 ユニトリリーダーミーティング、連絡会議

ベルヴューハイツ日誌

- 4日 インフルエンザ予防接種
11日 避難訓練
13日 Cユニットミーティング
16日 職員健康診断(於TSK、20日)
19日 すし祭り
26日 連絡会議(於作楽荘)

令和2年11月

- 2日 老健文化祭(3日)
5日 施設内研究発表会(2演題)
6日 デイケア文化祭(7日)
薬学講座(毎週金曜日講師谷山
薬剤師)

10日 職種別会議(堀内主任リモート)
12日 ケアマネ研修会(堀内主任リモート)

- 15日 誕生日会(3F)
17日 連絡会議
職種別会議(保健師)(山崎・羽田
リモート)

- 19日 地域ケア会議(堀内主任・菅沼・山
崎・羽田於吉田方地区市民館)

22日 誕生日会(2F)
24日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼於
豊橋市役所)

- 26日 給食会議

DSC吉かわ日誌

令和2年11月

- 4日 マッサージサービス
5日 文化祭
9日 季節の花週間(14日)
焼き芋の日(10日)

麗楽荘日誌

- 16日 芸能慰問(金田ひよこ様)
20日 マッサージサービス
27日 習字教室(佐藤征子講師)
28日 ミーティング

令和2年11月

- 2日 生け花クラブ(加藤温瞳講師)
3日 芸術祭
11日 給食会議
インフルエンザ予防接種

- 12日 寿司祭り
17日 やきいも会

- 18日 書道クラブ(加藤美代子講師)
20日 連絡会議・入所判定会議

- 25日 誕生日献立

和光ハイム日誌

令和2年11月

- 2日 和の会
3日 芸術祭

- 9日 親睦会
11日 インフルエンザ予防接種

- 12日 寿司祭り

- 17日 歯科健診(山本紀子先生)
19日 体操教室(今泉勝代講師)

- 21日 クラフトバンド教室(森谷とし子
講師)

- 24日 歯科健診(山本紀子先生)
25日 書道教室(加藤美代子講師)

GHIのり日誌

令和2年11月

- 11日 運動会

奇楽荘日誌

文化祭

令和2年11月

- 4日 ばんやさん訪問販売
7日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
10日 パン食い競争
25日 バスハイク「紅葉狩り」
26日 誕生日会

GHIのり日誌

令和2年11月

- 3日 ずんだ餅作り
10日 訪問診療(宇利)
12日 訪問診療(吉祥)
25日 防災訓練

作楽荘グループ・BVHグループ



施設概要・ブログ等を公開



編集後記

NHK連続ドラマ「エール」が11月いっぱい終了。11月の放映では音と華が豊橋の銘菓、若松園のゆたかおこし、ちぎり饅頭を召し上がっていました。また伊古部の海岸などの風景も映り、地元豊橋がクローズアップされたのはとてもうれしいことです。暗い影を落とすコロナ、ささやかな話題に幸せを感じた一年でした。法人の今年度事業計画もコロナ禍で大きく転換させられたところもありましたが、この難局にもかかわらず、計画の大きな柱「中・長期計画策定委員会」が始まりました。明るい未来を掴むため、今こそ職員力が試される時です。一丸となって頑張ろう！すべての皆様へ。一年間、ご支援・ご協力・ご理解賜り誠にありがとうございました。(T・A)